

新型コロナ続く影響 農畜産物の需要拡大を



新型コロナの影響と今期の営農について意見を交わした村田氏、大野氏、遠藤氏、宗像氏、千葉氏（左から）

2020年は新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大した。農業ではインバウンドを含む観光客が大きく減少したことともない、農産物需要や価格が低下。在庫が過剰になるなど影響が及んだ。今なおコロナの影響が続く中、今後の需要拡大策や今年の営農をどう考えているか。生産者や専門家の視点で5氏に語ってもらった。

【出席者】

北海道農協青年部協議会
道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会
北海道農政事務所帯広地域拠点
ホクレン農業協同組合連合会帯広支所
ホクレン農業協同組合連合会帯広支所

【司会】

十勝毎日新聞社

村田	辰徳	会	長
大野	泰裕	会	長
遠藤	浩由	地方	参事官
宗像	伸行	支所	長
千葉	文夫	次	長

児玉 匡史 編集局長

※役職は2021年3月4日開催時